

- 1 派遣期日 令和元年11月23日（土）
- 2 研修先 学校名（会場名）秋田県大仙市立大曲小学校
所在地 秋田県大仙市大曲花園町4-88
<http://www.edu.city.daisen.akita.jp/~om-kyokusho>

3 研修内容

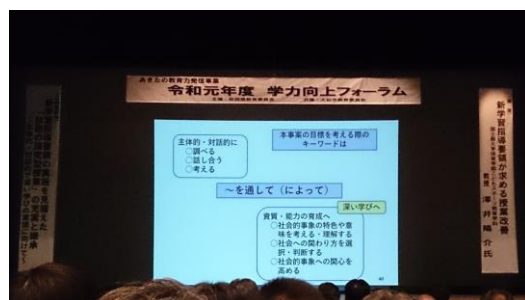
（1）令和元年度学力向上フォーラム

秋田県の学校教育の特色等を発信する機会として、県内を地区ごとに順番に年に一回開催されている。文部科学省委託「教科等の本質的な学びを踏まえた主体的・対話的で深い学びの視点からの学習・指導方法の改善の推進事業」の成果普及も兼ねて、県内外から約650名が参加し行われた。

- ・公開授業 大曲小学校等20本 大曲中学校等20本
- ・実践発表 「つながりによる学び」が未来を拓く
～大仙教育メソッド～

大仙市立太田中学校長 後藤 宏 氏

- ・講演 新学習指導要領が求める授業改善
国士舘大学体育学部教授 澤井 陽介 氏



（2）大仙市立大曲小学校研究主題

深い学びの実現に向けた指導の工夫と充実

～学びのつながりで育む自己有用感と資質・能力～

全国学力・学習状況調査や県学習状況調査の結果では、「複数の情報を関連付けて考える力」「条件を満たして適切に表現する力」に課題がみられる。児童の実態を踏まえて、今年度の方針は、「知識や技能を活用したり知識等を相互に関連付けたりして深い理解につながる学習活動」についての指導を更に充実させる。特に、「身に付けさせたい資質・能力の明確化」と「教科等の特質に応じた『見方・考え方』と学習内容の焦点化」の取り組みを進めることで、より深い学びの実現につなげ、児童の自己有用感と身に付けたい資質・能力の育成を目指す。



①第1学年 国語「くじらぐも」

単元名 くじらぐもの世界を表現して、音読発表会をしよう
～言葉をもとにして、登場人物を想像して読む～

本時のねらい 水の体積の変化について温度の変化と関係付けて説明することができる。

実験の予想では、「水の体積は、力を加えても体積は変わらないから」と理由を述べていた。実験装置は、教科書には載っていない細いガラス管を使って変化を見やすいように工夫されていた。前時の空気も同じガラス管で変わり方を比べることができた。結果の考察では、大型テレビに図を映し出し説明させていた。

③第3学年 算数「分数の計算」

本時のねらい 同分母の分数の加法について、単位分数の個数に着目し、図や言葉で説明する活動を通して、整数の場合と同様に考えられることに気付き、計算することができる。

オレンジジュースや掲示用1リットルますや個人用のホワイトボードを用意し、10分の1がいくつ分で計算することができた。また、小数の0.1と同じことにも気付くことができた。適用問題や評価問題まで取り組んでいた。

4 感想

- (1) 実践発表では、地域とのつながりを大切にしボランティア活動を多く取り入れている。また、大仙市は花火が有名で、地域の文化として様々な場面に広がりを持たせていた。小中学校の接続をスムーズにするため、小中連携に積極的に取り組んでいる。小中連携をはかり進級して大丈夫なようにつなげている。地域からいろいろなことが学べ、環境的には本校と似ているところがあり、地域の関わりや中学校とのつながりを見直していきたい。

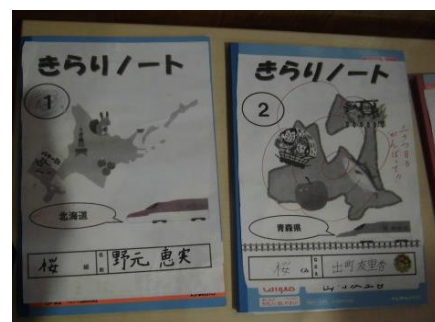
講演で印象に残ったことは、課題設定は、わかりやすく焦点化することでまとめの言葉を子どもたちが考えられるようになるということが、改めて課題設定の大切さを感じた。大曲小学校の子どもたちへの課題設定は、ねらいや手立てがきちんと考えられていた。

- (2) 大曲小学校では、昨年より2年間「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け校内で研究を進めている。研究協議会では、主要教科ごとに付箋を使い模造紙にまとめられていた。協議の成果を共通実践事項とし授業に生かされる。このことが、ベテランから若手の教員まで指導力の向上につながっている。体育館には、協議の内容や家庭学習ノートが掲示されていた。また、振り返りは時間をかけ大事にあついていた。今回の授業では、この振り返りの時間はなかった。

授業公開では、どの授業も教材研究されており焦点化されたねらいの設定、視覚化した教材が用意されていた。1年生の国語では動作を加えた体験活動や教室環境で楽しい授業であった。3年生の算数は、個人のホワイトボードを使い自分の意見を発表し友だちの意見を聞くことに時間をかけていた。4年生の理科では、実験方法を工夫して実施していた。今後、実験方法を参考に、理科専科の先生のアドバイスを取り入れていきたい。

秋田県は、全国学力・学習状況調査では上位に位置しており、違いがどこにあるのか興味を持って参

加した。全国から集まる学力向上フォーラムも3年目になり、駅の送迎から始まる規模の大きさに驚いた。素晴らしい授業であり、日立市でも取り入れることができるが多かった。大きな違いは、このフォーラムを担当することで指導力が向上し、若手教師が実際に授業を目にすることで指導力が向上していくと考えた。秋田県の学力が高い水準で維持できているのは、人事異動でも落ちることのない教員の力で保たれているのではないと思う。私にできることは、当たり前のことを当たり前にやること、指導力を高めることだと強く思った。



高学年の5つのふりかえり

- ①わかったこと
- ②自分や友だちの考えでよかったこと
- ③自分の考えが変わったり深まったりしたこと
- ④もっと学習したいこと
- ⑤生活や学習に役立てたいこと